

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	がん特異的蛋白分解断片を指標とした胆肝臓がん血清診断法の開発
	研究目的	新たな胆肝臓がん特異的蛋白分解断片を指標とした臓がん血清診断法の開発を行うために、健常人、胆肝臓疾患患者血清中の特異的蛋白分解断片の微量測定を行う。血清試料は、神奈川県立がんセンター生体試料センター(オプアウト)、金沢大学病院(包括同意)で採集した血清を用いる。さらに、当該断片の in vivo での発現・局在を免疫組織染色で明らかとする。さらに、当該断片の血管系への侵入経路を明らかとするため、当該断片の特異抗体を用いた蛍光免疫組織化学解析を行う。
	研究対象者	健常人、胆肝臓疾患に罹患した初診患者(がん、良性疾患を含む)
	研究期間	西暦 2018 年 9 月 7 日 ~ 西暦 2025 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	臨床研究所 臨床がんプロテオミクスラボラトリー 室長 越川直彦
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	臨床研究所臨床がんプロテオミクスラボラトリー 消化器内科(胆肝臓) がん分子病態学部
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	東京工業大学 生命理工学院 教授 越川直彦 金沢大学 医薬保健研究域 教授 金子周一、山下太郎 アボットジャパン 総合研究所 所長 吉村 徹 東京大学医科学研究所 教授 村上善則